

BOOK REVIEW  
人生のヒント  
Vol.22

人生やライフプラン  
を考える上でヒント  
となる本をご紹介します。



『定年消滅時代を  
どう生きるか』

中原 圭介 著

[講談社現代新書、2019年12月、  
860円+税]



「定年消滅」とは衝撃的なタイトルである。定年がなくなるとは、どういふことなのだろうか。「はじめに」を読むと、2020年は日本の雇用が大変革を遂げる年になり、雇用の流動化が起こると書かれている。同時に、生涯現役時代になるということも。

新卒の一括採用や終身雇用、年功序列といった日本型の雇用システムのままでは、大企業でさえ、競争が激化するグローバル経済の中で生き残っていくことが難しくなっているという。雇用の流動化が進めば、個人のスキルや能力、キャリアへの評価は客観的でよりシビアなものになっていくだろう。厳しさを増す労働市場の中で生涯現役時代を生きていくためには、どのようにして自らの価値を高め、備えていけばいいのか、本書にはそのヒントが詰まっている。

ちなみに、この本が出版されたのはコロナ禍が始まる直前の2019年12月。となると、今後、雇用の大変革が加速することも十分に考えられる。来るべき変化と長期化する人生に備え、キャリアデザインを柱としたライフプランを立てておきたいものだ。

(執筆：ライター 更田 沙良)

孫との入浴、平均80台のラウンド、人間ドック前にマイナス2kg等々。これが私の昨年の計。大寒頃に早くも絵に描いた餅になる気配。コロナ禍でほとんどが達成困難となったが、最上位目標の孫との入浴は、皮肉なことにコロナ対策のGOTOのおかげで実現。激動の時代に、そもそも目標設定すること自体、ナンセンスなのか？ いや、それは違う。目標とすべき理想像があつてこそ、現実のとの乖離がわかり、歩む方向もスピードも軌道修正できるもの。皆さんも是非、新年にお餅などを食べながら、餅を絵に描いてみては？ (M)

先のアメリカ大統領選挙で勝利したジョー・バイデン氏は、歴代最高齢の78歳でアメリカ大統領に就任する。29歳で上院議員になり50年間務めてようやく頂点に上り詰めたわけだが、世界一の経済大国のリーダーとなれば仕事量や責任の重さ、プレッシャーはこれまでの何倍にもなるはずだ。78歳でそれに立ち向かっていくというのだ。任期4年を終えるのは82歳。さらに2期目も当選すれば、「人生100年時代」と言われても正直まだ先のことという意識だったが、その現実が既にあることを実感させられた。(R)

ご意見をお待ちしております

ご意見、ご質問、ご感想などをお寄せください。皆様の声を、積極的に活かしていきたいと考えております。

E-mail : [alps2@lifeplan.or.jp](mailto:alps2@lifeplan.or.jp)

協会への交通案内

- 東京メトロ千代田線・日比谷線／霞ヶ関駅 C4 番出口より直結
- 東京メトロ丸の内線／霞ヶ関駅 B2 番出口より徒歩3分
- 東京メトロ銀座線／虎ノ門駅 9 番出口より徒歩3分
- 都営地下鉄三田線／内幸町駅 A7 番出口より徒歩3分

ALPS Vol.144  
2021年1月発行  
発行 ● 一般財団法人地域社会ライフプラン協会  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号  
飯野ビルディング 11階  
TEL : 03-6550-8441 FAX : 03-6206-6401  
ホームページ <http://www.lifeplan.or.jp>  
E-mail [alps2@lifeplan.or.jp](mailto:alps2@lifeplan.or.jp)  
編集協力・印刷 ● 株式会社丸井工文社

本書からの無断複写・転載を禁じます。  
本誌は再生紙を使用しています。

